

## 自分の進むべき道を決める

2月8日（木）、鶴田中学校（成田孝行校長）の2年生146人（男子72人、女子74人）は、体育館で立志式を行い、保護者とともにお祝いをしました。

立志式とは、日本の古い儀式である「元服」に由来しており、この日を境に「子どものような幼い考えを捨て、大人になる」という節目に行う式です。

式では成田校長の式辞と中野町長の祝辞に引き続き、学年代表の永澤麻耶さんが「気持ちを新たに学年全体で良い雰囲気を作り、心を一つにし責任ある行動をとるように努力します」と誓いの言葉を述べました。

生徒たちはそれぞれ将来の夢や目標の実現に向かって新たに決意をしました。



△2年生総勢146人が声を揃えて町民憲章を朗唱

あなたの地区の楽しい催しや出来事などを  
役場企画課広報国際係までどしどしお知らせ  
ください。(☎22-2111 内線264)

## 卒業を記念して弥生画制作

2月9日（金）、胡桃館小学校（今信夫校長）の6年生24人（男子13人、女子11人）が、卒業記念の弥生画を制作していました。

小野寺秀昭さん（山道弥生画保存会会長）の指導の下、1月末から下絵を描き始めた児童たち。画には、校舎の前を歩く男女の児童の姿と大きく「夢」という文字が描かれていました。初めて弥生画に挑戦した斎藤詩織さんは「始めは難しかったけどだんだん慣れてきて、豆を並べる作業がとても楽しいです。いい作品にしたいと思います」と感想を話してくれました。出来上がった弥生画は、校舎内に飾りみんなにお披露目をします。



△一粒一粒丁寧に、小豆を貼って輪郭を作っていきます

## 人生の折り返しで再出発

2月11日（日）、国際交流会館で実年式が行われ、143人（昭和21年4月2日～同22年4月1日生まれ）が出席し還暦のお祝いをしました。今回で15回目を迎えた実年式。対象者も230人と多く、出席者は過去最高となりました。

式典では中野町長が「人生の節目60歳おめでとうございます。みんなで健診を受けて元気に過ごしましょう」とお祝いの言葉を述べました。出席者は還暦厄除け長寿祈願際、記念講演、式典を行った後、会場を豊明館へ移し祝賀会を行いました。祝賀会では思い出話に花が咲き大変盛り上がり上がっていました。



△今までの人生を振り返り感慨深い面持ちの出席者たち



△メインディッシュの銀ダラのソテーを料理する男性参加者

## 塩分控えめ健康料理に挑戦

平成17年度から保健福祉課では、青森県立保健大学と協力し「楽しく減らそう塩分教室」を開催しています。

平成18年度の塩分教室は、前年度の健康診断で尿中塩分排泄量が13g以上の方を対象に、食事調査をし「食塩と健康」についての勉強会を行っています。11月から3月まで全6回の日程で行われ、5回目となる2月15日（木）には、鶴遊館で減塩料理の調理実習を行いました。参加者27人（うち男性3人）は、塩分を控えるために酢やマスタードなどの調味料を使い、工夫した料理を作りました。この日の料理の総塩分量は約3gでした。

## 鶴田の夜空を明るく照らす

2月22日（木）白梅（日本料理店）で、ツル多はげます会が「新春の有多毛」を開催し、会員13人が集まり、自慢の頭を使ったクイズやゲームをしながら宴会を楽しみました。

今回新たに2人の会員が加わり、現在の会員数は18人。恒例の吸盤綱引きに初挑戦した新会員、加藤豊さん（鱈ヶ沢町）と平井廣光さん（弘前市）は「こつが分からないので難しかった」「とにかく痛かった。次は絶対勝ちたい」と感想を語ってくれました。

当会の会員は60歳代から80歳代までと、若い会員が少ないのが現在の悩み。興味を持った方は、ぜひ入会してほしいとのことです。



△宴で一番盛り上がるグラウンドチャンピオン対六人で戦う吸盤綱引き